

MATSU DOING 2050

わたしがつくる!
まつどのみらい

[かわら版]

#5



第5回まちづくりワークショップが 開催されました!

第5回目のワークショップが開催されました。「まちをひとから考える『わたしがつくる!まつどのみらい』のためにできることは」というテーマの元、一般公募の市民や学生の方々と市役所若手職員が活発な議論を行いました。

インガイドマップの統合案をつくりました。今回は実際に松戸駅周辺でお店を出すことを仮定して、プレイヤーとしてまちをどのように使うかを考えます。立場を変えて松戸を考え、まちづくりに活かして欲しい」と述べられました。



<https://www.facebook.com/MATSUDOING2050/>



日時=2020年1月18日13時30分-16時55分
会場=松戸市民会館
参加者=65名

藤村龍至氏による イントロダクション

森純平 | もりじゅんぺい
東京藝術大学特任助教



森純平氏によるレクチャー



宮城俊作 | みやぎしゅんさく
東京大学大学院工学系研究科教授

秋田典子 | あきたのりこ
千葉大学大学院園芸学研究科准教授

藤村龍至 | ふじむらりゅうじ
東京藝術大学美術研究科准教授



宮城俊作氏による挨拶

まず宮城俊作氏より挨拶がありました。「前回のWSでは松戸駅周辺の公共空間についての議論を行い、松戸市デザ

続いて東京藝術大学の藤村龍至氏からイントロダクションがありました。まちは建築と同様で時間とともに徐々に機能が弱っていきませんが、適切なタイミングで再投資を行うとまちはより長く持続させることができます。しかし、民間の動きをよく見ずに公共投資だけを行っても、使われない「がらんどろ」の空間が大量に生まれてしまう危険性があり、現在は「民間の動きを先につくり、動きが生まれたところに公共投資を重ねる」という公民連携型の都市再生が言われるようになりました。そのためには、政府は「まち・ひと・しごと」と言っていますが、「まち」を「ひと」や「しごと」とセットで考えること、「松戸らしさ」とはまず松戸の「ひと」や

続いてゲストである東京藝術大学の森純平氏から「まちをストレッチする - PARADISE AIR の取組について - 」と題したレクチャーがありました。森純平氏は2013年に松戸市で「PARADISE AIR」を立ち上げ、国内外のアーティストを松戸市に招へいして住みながら制作する活動(アーティスト・イン・レジデンス)を行っています。さまざまな国や専門性、キャリア、世界観を持ったアーティストが松戸市に集まることで、彼らの活動が松戸をより魅力的にすると考えています。「ちょっと」難しいことにチャレンジしたり、「ちょっと」話を聞いてみたり、「ちょっと」を繰り返すことでまち全体を柔らかくする「まちのストレッチ」を続けることで少しずつまちの可能性が広がっていくというお話がありました。



1.グループワーク

今回のWSは10名ずつ8グループに分かれてこれまでの議論を下敷きにし、参加者が2人組となり、好きなものや好きなことを掛け合わせたお店を考え、どのエリアに出したいかを考えました。

2.発表

1班 | 雰囲気の良い飲み屋街に寿司×音楽=「JAZZ寿司Bar」や、坂川の河川空間を有効活用した川×昔の遊び=「ニコニコ商店」など

2班 | 松戸の特産物を活用した、アイス×野菜=「アISTOP」や、松戸神社から松戸宿付近に、歴史×民泊=「民泊灯籠」など

3班 | 松戸の特産物を活用した、梨×ワイン=「ブルワリー松戸」や、東口駅前に生バンド×カフェ=「街の駅まつど」など

4班 | 位置情報サービス×酒=「HURRY BAL(ハルバル)」や、江戸川沿いにジム×映像×図書館=「MATSU屋」など

5班 | 松戸神社から松戸宿に情報×酒=「ニュースナックまつど」や、散歩しながら市民の作品が楽しめる発表×音楽×歌×写真=「まちあるきギャラリー」など



6班 | パラダイスエアーと共同し、多国籍レストラン×アート=「パラダイスダイニン

グ)や、江戸川の自然を楽しめる自転車×釣り×宿泊=「かわらカフェ」など

7班 | 学校の放課後や休日に子供が集まれる、こども×自然=「マッドプレイパーク」や、虫を育てて食べる、昆虫×グルメ=「ムッシュインセクト」など

8班 | 子どもの様子を見ながらお酒を楽しむことができる、こども×お酒=「こどもバル」や、千葉大学のサークルなどと共同したゲーム×野菜×剪定=「エディブルボードゲーム」など



藤村氏コメント

川沿いなど公共スペースでの提案が多かった。例えば公園を公共的な目的で活用しながら自分たちで松戸の資源を活かすような活動をしていけるといい。

森氏コメント

提案はどれも可能性があると感じた。地

元に住んでいるからこそ分かるような場所やこだわりがあるプロジェクトが伸びるのではないかとと思う。

秋田氏コメント

「坂川」や「旧松戸宿」をエリアとして提案された方も多く改めて歴史性を忘れてはならないと気づかされた。東西をつなぐ2ヶ所の動線の重要性が特に明らかになったと思う。



宮城氏コメント

今回のWSで考えた起業家になった気持ち時々思い出してほしい。今回はこれをフィードバックしてまちづくりのことを考えてほしい。

次回は2020年2月29日(土) 13:30-17:00 松戸市民会館で開催します。

MATSUYAMA 2050 まちづくりガイドマップ 001案

Q.あなたが「わたしがつくる!まつどの未来!」のためにできることは?

MATSUYAMA 2050
 ・松戸の歴史性—西口
 ・川:坂川と江戸川
 ・は別まて行く場所(11/7)
 ・西口/東口
 ・オリンピックアライド—市外への影響

シャレットでまとめたまちづくりガイドマップ 001案(専門家を加えた参加者全員で1つの統合案を作成)
 *WSでの案をもとに一部表記を統一しています